

支部Newsletter

北海道支部

◎第66回大会の開催(報告)

11月7日(日)本支部第66回大会がZoomを使用したウェブカンファレンスの形式で開催されました。今大会では、4件の研究発表、文学部門シンポジウム「アメリカ文学と病」、語学部門シンポジウム「不定語研究の展開と展望」、語学部門セミナー「日本語と英語の語の意味拡張のメカニズム」、および支部賞受賞記念講演が行われ、充実したプログラムとなりました。

◎理事会および総会について(報告)

11月7日(日)にウェブ会議の形式で開催された理事会では、議題3点と報告4点がありました。会計状況等および2022年度の支部大会開催ブロックが提案され、承認されました。また、メール会議の形式で開催された総会では、活動報告、決算報告、次年度支部大会開催ブロックの報告がなされました。

◎道南ブロック企画事業(報告)

11月13日(土)、令和3年度函館英語英文学会研究発表会が北海道教育大学函館校で開催され、本支部が共催しました。

◎『北海道英語英文学』第67号の原稿募集について

現在、『北海道英語英文学』第67号に掲載する原稿を募集しています。締切は2022年5月10日必着です。詳細は別途発行の『北海道英語英文学』第66号(『英文学研究会支部統合号』第14巻)の巻末または支部ホームページをご覧ください。

◎第67回支部大会について

2022年度支部大会は、道央ブロックの北海道大学での開催に決定しました。日程については確定し次第、支部ホームページにてご案内致します。

◎2022年度の事務局について

2022年度の事務局は以下の通りです。
〒069-8501 江別市文京台緑町582番地

酪農学園大学 農食環境学群 循環農学類
藤田佳也研究室内

[TEL/FAX] 011-388-4704

[メールアドレス] hokkaido@elsj.org

[ホームページ]

<http://www.elsj.org/hokkaido/index.html>

◎会員情報更新のお願い

氏名、住所、メールアドレス、職位、勤務先の異動等があった際には、速やかに日本英文学会本部事務局ならびに支部事務局へご連絡ください。また、メールアドレスを登録されていない方はご登録をお願い致します。ご登録の際には、本部と支部の両事務局にお届けくださいますようお願い申し上げます。

(文責 藤田佳也)

東北支部

◎第76回支部大会開催報告

第76回東北支部大会が、2021年11月27日(土)、Zoomを用いて遠隔開催されました。参加者はおよそ40名を数えました。4件の研究発表および2件のシンポジウムが行われ、活発な質疑応答が展開されました。

コロナ禍での対応として開催形態をZoom形式に変更することに決定しました。手探り状態での準備でしたが、様々な協議を経てなんとか開催にこぎつけ、無事に終えることができました。大会準備委員、開催校委員の皆様、研究発表された皆様、司会、シンポジウム講師を務められた皆様、そして当日参加された会員の皆様にはこの場をお借りして心よりお礼申し上げます。

詳細は東北支部ホームページ(<http://www.elsj.org/tohoku/index.html>)をご覧ください。

◎東北支部研究振興事業「若手研究者のためのトラベル grant」次回締切

東北支部の研究振興事業「若手研究者のためのトラベル grant」は若手研究者の支援を目的とし、4月1日、10月1日と年2回の締切を設けて募集を行なっています。次回の締切は2022年4月1日です。応募希望者は、支部ホームページ上にある申請書ファイルをダウンロード

ドのうえ、事務局(tohoku@elsj.org)宛にご応募ください。

◎『東北英文学研究』第12号発行および第13号原稿募集

『東北英文学研究』第12号が『英文学研究 支部統合号』第14巻に合本される形で発行されました。また、現在『東北英文学研究』第13号の原稿を募集しています。締切は2022年4月30日です。支部ホームページにある投稿規程をご覧ください。事務局(tohoku@elsj.org)宛に、どうか奮ってご応募ください。

(文責 高田英和)

関東支部

◎関東支部第20回大会(2021年度秋季大会)

Zoomミーティング開催について

日本英文学会関東支部第20回大会(2021年度秋季大会)は、2021年11月6日(土)にZoomミーティングで開催いたしました。昨年度の秋季大会に続きオンライン開催となりましたが、盛会のうちに無事終了することができました。当日ご登壇、ご発表くださった皆様、オンラインでご参加くださった皆様に重ねて御礼申し上げます。開催のために大変ご尽力くださった大会準備委員の皆様にも感謝申し上げます。

◎関東支部第21回大会について

日本英文学会関東支部第21回大会(2022年度夏季大会)は、2022年6月18日(土)に開催予定です。会場は青山学院大学青山キャンパスを予定しております。研究発表の応募締め切りは2022年3月末日です。詳細は関東支部HP(<http://www.elsj.org/kanto/index.html>)をご覧ください。

◎『関東英文学研究』第15号について

『関東英文学研究』第15号への投稿を募集しております。締め切りは2022年5月15日(日)(必着)です。奮ってご投稿ください。投稿規定につきましては、関東支部HP、および『関東英文学研究』第14号の巻末をご覧ください。

◎2021年度関東支部総会報告

2021年度秋季大会がオンライン形式での実施となりました関係で、大会時に予定していた総会は11月7日(日)から11月13日(土)まで支部HP上で開催いたしました。報告事項は以下の通りです。皆様のご協力に御礼申し上げます。

1. 支部長報告(2021-22年度関東支部理事会の構成、監事、2023年度全国大会について)
2. 大会準備委員会報告(2021年度秋季大会について)
3. 編集委員会報告(『関東英文学研究』第14号について)
4. 事務局報告(2020年度収支決算、会計監査、2020・2021年度講師派遣事業について)

◎理事会報告

2021年11月6日(土)に、Zoomミーティングにて2021年度第2回理事会が開催されました。主な議題は以下の通りです。

1. 支部長報告(2021年度総会の開催について)
2. 大会準備委員会報告(秋季大会Zoomミーティングでの開催、次年度夏季大会、次年度の委員人事など)
3. 編集委員会報告(『関東英文学研究』第14号、次年度の委員人事、抜き刷りについてなど)
4. 事務局報告(2020年度会計監査、2021年度講師派遣事業など)
5. 2023年度全国大会(関東支部担当大会)について
6. 支部事業について(講師派遣事業規約の改正、講師派遣事業HP、出版事業についてなど)
7. 2022年度大会準備委員長と編集委員長について

◎編集委員会報告

2021年9月12日(日)に、Zoomミーティングにて2021年度第3回編集委員会が開催されました。主な議題は以下の通りです。

1. 2021年度優秀論文賞・若手奨励賞について該当論文なし
2. 特別寄稿論文査読報告、判定
3. 2021年度再投稿論文査読報告、判定
4. 投稿規定について(スタイルマニュアルの

例について)

5. 2022年度の後任委員

以下の人事を承認(敬称略:以下同様)

2022年度委員長 倉林秀男(杏林大学)

イギリス文学 笹川浩(中央大学)→植月恵一郎(日本大学)

阪本久美子(日本大学)→本山哲人(早稲田大学)

北川依子(東京工業大学)→浦野郁(共立女子大学)

井上麻未(聖路加国際大学)→中井理香(立正大学)

アメリカ文学 梶原照子(明治大学)→吉田要(日本工業大学)

中谷崇(横浜市立大学)→山本洋平(明治大学)

英語学・英語教育 斎藤弘子(東京外国語大学)→塩原佳世乃(東京女子大学)

◎大会準備委員会報告

2021年11月6日(土)に、Zoomミーティングにて2021年度第3回大会準備委員会が開催されました。主な議題は以下の通りです。

1. 2022年度副委員長(2023年度委員長)(敬称略:以下同様)

中嶋英樹(多摩美術大学)が2022年度副委員長に選出された。

なお、2022年度委員長は山本真司(青山学院大学)。

2. 2022年度の後任委員

以下の人事を承認

川崎明子(駒澤大学)→川本玲子(一橋大学)

木谷巖(帝京大学)→橋本健広(中央大学)

古屋耕平(神奈川大学)→ハーン小路恭子(専修大学)

今井純子(順天堂大学)→柳川浩三(法政大学)

3. 今後の大会企画担当

4. 2022年度夏季大会について

以下のシンポジウムを実施予定。

シンポジウム1(イギリス文学分野)

(仮)いま英語圏詩を研究し教えることの難しさについて

司会: 諏訪友亮(実践女子大学)

講師: 阿部公彦(東京大学)、原成吉(獨協大

学)、他1名

シンポジウム2(アメリカ文学分野)

(仮)現代アメリカ文学の戦争

講師: 中村理香(成城大学)、他2名

開催日時と形態、懇親会の有無について2022年4月に開催される委員会で検討する。

5. 研究発表応募要領の改定について(「発表要旨」と「発表要旨の梗概」の加筆・修正)

6. 会員持ち込み企画について(感染症が収束後にあらためて検討)

7. 今後の予定

◎事務局よりご連絡

1. 2022年度夏季大会は対面での開催を予定しておりますが、感染症の状況、会場校の方針をみながら、2022年度第1回大会準備委員会で決定する予定です。不透明な状況が続きますが、研究発表への積極的な応募をお待ちしています。研究発表をご検討の方は、支部HPをご参照の上、どうぞ奮ってご応募ください。

2. 『関東英文学研究』第14号には、7本(イギリス文学3本、アメリカ文学1本、英米文学1本、英語圏文学2本、英語・英語教育0本)の投稿論文が寄せられ、そのうち1本が掲載可となり、特別寄稿論文と合わせて4本が掲載されました。今後も関東支部は、意欲ある研究者を応援いたします。優秀な論文には、若手奨励賞・優秀論文賞を授与しています。ぜひ積極的にご投稿ください。

3. 2021年8月25日(水)にオンラインにて、岡山県立岡山朝日高等学校進路教養講演会(日本英文学会関東支部共催)「学問の魅力——英語達人に学ぶ文化発信」が開催されました。講師は東京大学大学院教育学研究科の斎藤兆史教授(関東支部理事)です。本講演会は関東支部の講師派遣事業の一環としておこなわれました。関東支部では、中学校、高等学校、大学、社会教育施設、生涯教育機関を対象に、日本英文学会関東支部の会員を英米文学、英米文化、英語、英語教育に関する講演や授業に講師として派遣し、ひろくその理解を深める機会を提供しています。講師派遣に関わる講演料は一部を関東支部の基金から支出します。講演

や授業をご希望の中学校、高等学校、大学、社会教育施設、生涯教育機関関係者の方々は、ぜひ関東支部事務局(kanto@elsj.org)までご連絡ください。詳しくは、支部HPの「講師派遣事業」のページ(<http://www.elsj.org/kanto/haken.html>)をご参照ください。

4. 2022年度関東支部理事選挙では、電子メールとQRコードを使用した電子投票の実施を予定しています。メールアドレスの登録がまだお済みでない方、メールマガジンの購読をご希望されているのに不着の方は、関東支部事務局(kanto@elsj.org)までご連絡ください。

(文責 笹川渉)

中部支部

◎第73回支部大会報告

中部支部第73回大会は、愛知大学を大会開催校として、2021年10月16日(土)にZoomを用いた同時双方向方式でオンライン開催されました。大会ではシンポジウム3件と2件の研究発表が行われ、3室に分かれて行ったZoomミーティングへの参加者は延べ111名でした。

シンポジウム・研究発表は知的刺激に満ちたものが多く、質疑応答でも活発な議論が行われ、盛会のうちに終了しました。開催校である愛知大学関係者の皆様、会員の皆様、シンポジウム講師、研究発表者、司会者の皆様には厚くお礼申し上げます。

大会プロシーディングズは、中部支部ウェブサイトにて2022年2月1日ごろ掲載されますので、ご高覧ください。

また、ご発表を元に論文に発展させ、『中部英文学』へのご投稿を検討していただければ、尚幸いです。

◎支部総会報告

支部大会がオンライン開催に変更されたことに伴い、支部総会もまたオンライン開催となりました。

10月16日(土)～23日(土)の期間にオンラインで開催された総会において、以下の議題が報告もしくは提案され、了承されました。なお、

総会資料・議事録につきましては支部ウェブサイトに掲載されました。

1. この一年の活動報告
2. 前年度会計決算報告
3. 今年度予算案
4. 次年度の支部運営体制について
5. 次年度以降事務局担当校ならびに支部大会開催校について

◎新年度役員

この3月をもって、現事務局は退任し、2022年4月から愛知学院大学と岐阜市立女子短期大学が事務局担当校となります。任期は2年間で、役員は次の通りです(敬称略)。

支部長：石川一久(愛知学院大)
副支部長：近藤浩(愛知学院大)
事務局長：前田満(愛知学院大)
事務局長補佐：森藤庄平(岐阜女子短大)
事務局長補佐：大澤聡子(岐阜女子短大)
書記：澤田真由美(愛知学院大)
監事：本多尚子(愛知大)
理事は現在の17名で変動はありません。

◎『中部英文学』第42号投稿募集

『中部英文学』第42号投稿の締切は4月10日(日)必着です。執筆ご希望の方は投稿規定を熟読・厳守の上、奮ってご応募ください。

◎第74回支部大会発表募集

第74回支部大会は10月22日(土)、名城大学(ナゴヤドーム前キャンパス)にて開催されます。研究発表応募締切は5月31日(火)必着です。発表ご希望の方は応募要領を熟読され、お早めに必要書類送付と年会費支払いをお願いします。奮ってご応募ください。

◎会員情報更新

氏名、住所、メールアドレス、勤務先、職位等の異動があった場合は、速やかに本部事務局と支部事務局の両方にご連絡ください。また、メールアドレス未登録の方は、業務効率化のため、ぜひともご登録をお願いいたします。いただいた個人情報は、中部支部の業務のみに使用し、他の用途には使用しません。

(文責 内海智仁)

関西支部

◎関西支部第16回大会について

2021年12月18日(土) 11:00より、関西支部第16回大会が開催されました。新型コロナウイルス感染継続の状況を受け、昨年度に引き続き本年度もオンライン形式による実施となりました。大会当日は大会準備委員会を中心に事務局関係者もZoomの管理者として参加しました。当日の管理運営に携わって下さった皆様に厚く御礼申し上げます。

今回は4件の招待発表を含む17件の研究発表と、英米文学部門および英語学部門の2件のシンポジウム、最後の総会・閉会式をすべてZoomによるライブ配信にて実施しましたが、この1年半の間に各会員のオンラインスキルが向上したこともあってか、進行はおおむね円滑でした。事前登録の申し込み人数は146名を数え、盛況のうちに大会は終了しました。

今年度も残念ながら懇親会を開くことはできませんでしたが、来年度の大会では久々に皆様とお目にかかれることを期待したいと存じます。

◎役員会および総会について

支部大会当日に開催されたZoomによる理事・評議員合同役員会では、昨年度の会計報告に引き続き、機関誌編集委員長と大会準備委員長からそれぞれ報告があったほか、第17回支部大会は甲南大学を開催校として2022年12月17日(土)に実施予定であることが了承され、甲南大学の評議員からの挨拶がありました。また2022年度の全国大会は5月21、22日に同志社大学で開催する予定でしたが、新型コロナ禍の先行きが不透明であるため、昨年度に引き続きオンライン開催とすることが理事会で承認された旨の報告がなされました。総会でも以上の内容とほぼ同様の報告がなされました。

◎機関誌第16号の投稿について

『関西英文学研究』第16号の投稿締切は4月末日です。電子媒体での投稿となります。詳しくはHPで投稿規定をご確認ください。なお、修士号取得7年以内の関西支部会員ならびに準会員による優れた論文には奨励賞(この賞を受賞

していない者)が与えられます。奮ってご投稿ください。

◎関西支部第17回大会の研究発表の応募について

関西支部第17回大会は、2022年12月17日(土)甲南大学にて開催される予定です。日程は変更の予定があるため、開催様式の通知も含めて、支部ホームページを随時ご確認ください。また、研究発表の応募締切は7月上旬の予定です。奮ってご応募ください。

◎関西支部の各種事業について

現在関西支部では、支部機関誌の発行と支部大会の開催に加えて、海外研究者招聘後援事業、講演会補助事業、学会発表補助事業を行っています。以上、事業の趣旨に合致するケースがありましたら、是非ご活用ください。

規約、役員、機関誌の投稿規定、奨励賞の選考基準、研究発表の応募要項、各種事業の詳細については、関西支部ホームページをご覧ください。

(文責 金山亮太)

中国四国支部

◎中国四国支部第73回大会報告

2021年10月23日(土)に、中国四国支部第73回大会がオンラインで開催され、盛会のうちに全プログラムを無事に終了することができました。ご協力いただきました学会員の皆様にはたいへんお世話になりました。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

今林修支部長による開会の辞をもって開会式が行われた後、研究発表、シンポジウム、特別講演が行われました。研究発表は、英語学関係2編、イギリス文学関係3編、アメリカ文学関係2編、英語教育関係4編の計11編が行われました。続いて、近畿大学大学准教授の西尾美由紀氏(司会・講師)の主導のもと、中尾佳行氏(広島大学名誉教授)、重松恵梨氏(鳥取大学准教授)、池尾玲子氏(専修大学教授)の三講師によるシンポジウム「話法の歴史的発達」がありました。特別講演は、鳥飼玖美子氏(立教大学名

誉教授)による「今、なぜ異文化コミュニケーション学なのか」(司会:広島大学教授 今林修氏)がありました。その後、水野和穂副支部長の閉式の辞をもちまして全日程を終了しました。

◎理事会報告

支部第73回大会に先立ち、10月23日午前中の理事会にて次の議題が審議されましたのでご報告いたします。

1. 会計報告および会計監査報告

西野友一朗事務局長補佐が2020年度決算報告を行い、会計監査(天野みゆき氏)により適切に会計処理されていることが報告され、承認されました。

2. 第74回支部大会について

日本英文学会中国四国支部第74回大会は、2022年10月22日(土)と23日(日)に、県立広島大学(開催校責任者:栗原武士氏)にてハイブリッド方式(対面を軸にオンラインを併用)で開催される予定です。大会案内は2022年3月頃にメールおよび支部ウェブサイトにて配信いたします。

3. 支部大会開催校のローテーションについて

各県の支部大会開催可能な大学数を考慮し、広島県と岡山県での支部大会開催の頻度を上げることになりました。2022年開催の県立広島大学での第74回大会以降は次のローテーションになります。鳥根→岡山→高知→広島→山口→広島→香川→岡山→愛媛→広島→鳥取→広島→徳島→岡山(広島→他県→広島→他県→岡山→他県→広島を繰り返し、他県は鳥根、高知、山口、香川、愛媛、鳥取、徳島の順になる)。

4. 名誉会員資格について

支部名誉会員に、これまでの4名に加えて、地村彰之氏、新田玲子氏、高橋渡氏が推挙され、理事会後に開催された総会で承認されました。

◎支部大会開催のお知らせと研究発表の募集

2022年度の第74回大会は、10月22日(土)・23日(日)の両日、県立広島大学広島キャンパス(広島市)で開催いたします。研究発表の募集の締め切りは、5月16日(月)(必着)です。た

くさんのご応募をお待ちしております。

◎学会誌の原稿の募集

支部学会誌『中国四国英文学研究』第19号(『英文学研究 支部統合号』第15巻)の原稿を募集いたします。締め切りは、5月16日(月)(必着)です。投稿規程は、支部ホームページ(<http://www.elsj.org/chu-shi/studies.html>)をご覧ください。

(文責 島克也)

九州支部

◎日本英文学会九州支部第74回大会は、令和3年10月16日(土)、17日(日)の両日に、西南学院大学(福岡市)での開催を目指し準備を進めてきましたが、新型コロナウイルスの流行のため、開催校のご意向を伺ったうえで、九州支部理事・評議員・編集委員で協議した結果、予定されていたのと同じ令和3年10月16日(土)、17日(日)に、Zoomを利用したリアルタイムのオンライン形態で開催され、無事に終了しました。

◎令和3年度第3回支部編集委員会が令和3年10月16日(土)に、Zoomを使って開催されました。また、同じ日の編集委員会の終了後、Zoomを使って支部評議員会・理事会の合同会議が開催されました。主な報告事項、議題は下記のとおりです。議事録は支部ホームページに掲載されていますのでご覧ください。

《編集委員会議事録》

1. 『九州英文学研究』第37号(支部統合号Vol. XIII)の刊行について
2. 『九州英文学研究』第38号(支部統合号Vol. XIV)について
3. 九州支部学会賞(「優秀論文賞」、「奨励賞」)の審査について
・九州支部学会賞の基準に沿って審議した結果、今回は「優秀論文賞」「奨励賞」ともに該当者なしとなった。
4. 「招待発表者」ならびに懲遯について
5. 令和4年度の支部大会について
・今年度の開催校だった西南学院大学で、

2022年10月下旬に開催予定である。

(文責 鵜飼信光)

《支部評議員会・理事会議事録》

1. 活動報告

- ・『九州英文学研究第37号』刊行、大会 ProceedingsのWeb掲載
- ・第73回支部大会(2020年10月24日～28日) ウェブカンファレンス
- ・理事会・評議員会(2020年10月26日～28日)メール会議
- ・編集委員会(2020年度第2回2020年10月24日、2021年度第1回2021年8月1日、2021年度第2回2021年10月16日)
- ・第74回支部大会(2021年10月16日、17日) オンライン開催

2. 会計報告

- ・令和2年度(令和2年4月1日～令和3年3月31日)の支部会計報告が行われ、監査の黒木隆善氏(九州共立大学評議員)による監査が行われた旨が報告された。
- ・令和3年度会計の中間報告、ならびに令和4年度予算案が提案され、承認された。

3. 統合号出版経費負担について

4. 編集委員会報告

- ・上記の通り。

5. 評議員校について

- ・鹿児島大学、鹿児島国際大学、九州大学、九州産業大学、西南学院大学、長崎大学、福岡教育大学、福岡女学院大学で評議員の交代があった。

6. 令和4年度全国大会・九州支部大会の開催について

第94回全国大会は同志社大学、第75回九州支部大会は西南学院大学にて開催予定。

7. 理事名、評議員名、編集委員名の確認

8. 支部大会案内については、事務局の業務、郵送費削減のため、会員の意向を調査し、約100名の会員に今後、メールで案内をお送りすることになったことを確認した。

9. 支部事務局保管の物品について、多部数ある刊行物の一部は廃棄することが承認された。

九州支部ホームページ

<http://kyushu-elsj.sakura.ne.jp/>